

男性介護ネット 11 周年記念式&第 12 回総会の

「延期」について お詫びとお知らせ

2020 年 2 月 24 日

男性介護者と支援者の全国ネットワーク

事務局長 津止 正敏

男性介護ネット役員会は、3 月 7 日(土)~8 日(日)に開催を予定しておりました表記イベントを、新型コロナウイルス感染症が収まるどころかますます広がっているという状況から、ひとまず「延期」にするという判断をしました。その判断は次のような理由からです。

- ① 今回の強い感染力を持つ新型コロナウイルスが発生源の中国から日本・韓国はじめ各国に広がり、その感染経路はすでに追うことも出来なくなっていること。つまり、何処でも誰でも感染してもおかしくない環境にあるという不安が広がっているということ。
- ② この新型ウイルスがこれほどまでに私たち不安を掻き立てているのは、これまでの感染症と違って軽症者や無症状者がかなりの割合で存在しているということ。そのために、感染している人がそれとは知らずに周りに感染させてしまうという「見えない感染」が広がっている、ということにあること。
- ③ 今回の私たちのイベントは、交通機関を経由し全国各地から参集したメンバーが、記念講演やリレートーク、懇親会、総会、フォーラム等々2 日間の空間・時間を共にする、というメンバー間の濃厚接触の大きい取り組みであること。
- ④ 参加者の多くが、抵抗力の弱まった高齢者であり、日ごろから体調に不安を抱える人も少なくないこと。そして、現役の介護者、看護師、介護士等の参加者も多いことから在宅あるいは病院施設での要介護者、患者利用者への感染媒介になるという恐れもあること。
- ⑤ 劇的に減少したとはいえ、いまもなお多くの内外の観光客で賑わう京都・京都駅前での開催であること。遠方からの各種交通機関を使つての上洛は、感染機会とその経路の増幅と複雑化をもたらすこと。
- ⑥ 懇親会の廃止、あるいは総会だけの実施、というプログラムの変更・縮小での実施も考えたが、それはこのイベントの趣旨・意義及び参加者の期待に沿うものではないこと。また、感染防止のための参加者へのマスク提供や消毒液の配置等々の準備も容易ではなく、実施はするがプログラムは変更、ということの連絡・通知も複雑になって、広報徹底が難しいこと。

以上が今回の「延期」判断に至った主な理由です。

私たちは、このイベントを全国各地の男性介護者の年に一度の大変意義ある交流機会として位置付けてきました。そして、この一年を総括してこれからの方針を確認するための学びと懇親のプログラムを吟味しながら運営してきました。また、今回は、不在となっている当会の代表の選出、さらには複数ブロックでの世話人交代という議決課題も背負っていただけに、この「延期」の判断は苦渋のものでした。どうぞご理解頂きますようお願いいたします。

なお、状況をしばらく見守りながら新型コロナウイルスの終息が見通される時期に、総会議案書・予算決算書は事前に会員の皆様にはお届けし、改めての 11 周年記念式&第 12 回総会の開催のご案内を差し上げたいと思います。最悪でも、総会を開いて活動開始につなげたいと思います。

そして、このイベントにご登壇をお願いしておりました、彦聖美先生、堀越栄子先生、そして介護語り部の皆さんの皆様には、改めての日程調整のご依頼をさせて頂くお許しを乞うことを記して、お詫びを申し上げたいと思います。

会員の皆様。日頃の介護に加えての感染症という厳しい課題も生じることになりましたが、どうぞご自愛頂き、またの機会をお待ち頂きたいと思ひます。ひとまず、これまでの経緯とこれからの取り組みについてのご報告といたします。